

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

■ 実施日            2017年10月10日(火) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3881 6	尿中NGAL 5C230-0000-001-051	部分尿 2	↓ UO0 (Y)	冷蔵 (7日)	2~4	210 ※1	CLIA	30.5以下 (ng/mL) クレアチニン換算値 21.7以下 (μg/gCr)	白血球の混入により高値 となる可能性があるため、 採尿後、24時間以内に できるだけ速やかに 400G以上で5分間以上 遠心分離し、上清を提出 容器に移しご提出くださ い。

※1：尿・糞便等検査判断料

## ● 尿中NGAL

急性腎障害（AKI）の早期診断補助等に有用な新規尿中バイオマーカーです。

急性腎障害（Acute Kidney Injury：AKI）は急激な腎機能低下と腎組織障害をきたす病態であり、ICU症例において多く発症します。AKIは多臓器不全や敗血症のような致死率の高い疾患を併発することから死亡率が高く、予後改善のために早期の診断と治療介入が求められています。

AKI診断には血清クレアチニンと尿量を基準とした分類が用いられていますが、AKI発症から血清クレアチニン値の上昇までに24～72時間を要することから、早期診断への問題が認識されています。そのため、腎障害を鋭敏に反映するマーカーが必要とされています。

好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン（Neutrophil Gelatinase-Associated Lipocalin：NGAL）は、尿細管に急激なストレスがかかると、遠位尿細管での産生増加および近位尿細管からの再吸収阻害が生じ、数時間で尿中排出量が増加することから、AKIの早期診断に有用として注目されています。また、尿中NGALは1日後には半減するため、発症原因の特定や回復期のモニタリングにおいて病態をリアルタイムに反映するバイオマーカーとして期待されているほか、AKIの重症度や予後予測の指標となる可能性が示唆されています。

### ▼ 疾患との関連

急性腎障害（AKI）

### ▼ 関連する主な検査項目

シスタチンC  
N-アセチルグルコサミニダーゼ（NAG）  
L型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）

### ▼ 検査要項

検査項目名	尿中NGAL
項目コードNo.	3881 6
検体量	部分尿 2 mL
容器	→ U00 (Y) 尿用容器
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	2～4 日
検査方法	CLIA
基準値	30.5以下 (ng/mL) クレアチニン換算値 21.7以下 (μg/gCr)
検査実施料	210点 (「D001」尿中特殊物質定性定量検査「16」)
判断料	34点 (尿・糞便等検査判断料)
備考	白血球の混入により高値となる可能性があるため、採尿後、24時間以内にできるだけ速やかに400G以上で5分以上遠心分離し、上清を提出容器に移しご提出ください。

### ● 参考文献

Cullen MR, et al : Ann Clin Biochem 49 (2) : 190～193, 2012. (検査方法参考文献)  
師田 かおり, 他 : 生物試料分析 39 (4) : 228～233, 2016. (臨床的意義参考文献)